

表 1. 第 2 期計画期間中のスケジュール

		第 1 期	第 2 期				第 3 期	
		2011 (H23) 年度	2012 (H24) 年度	2013 (H25) 年度	2014 (H26) 年度	2015 (H27) 年度	2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度
特定管理地区 (知床岬)		○仕切り柵設置 ○個体数調整 仕切り柵を用いた銃 猟による個体数調整 を実施する。	○個体数調整 仕切り柵を用いた銃 猟による個体数調整 を実施する。				○結果評価 今後の方針を確認。	○個体数調整
A 地 区	高山帯		○経過観察 高山帯の希少種（シ レットコスミレ等） の採食状況等につ いて調査を実施す る。			○第 3 期に向けた 管理方針の取りま とめ		
	ルシャ		○管理方針の再検 討 A 地区内では重 要な越冬地の一つ であるため、今後 の管理方針を検討 する。			○第 3 期に向けた 管理方針の取りま とめ		
B 地 区	ルサー相泊	○個体数調整 密度操作実験 1 年 目	○個体数調整 密度操作実験 2 年 目	○個体数調整 密度操作実験 3 年 目	○結果評価 今後の方針を決定 。	○第 3 期に向けた 管理方針の取りま とめ		
	岩尾別	○個体数調整 密度操作実験 1 年 目	○個体数調整 密度操作実験 2 年 目	○個体数調整 密度操作実験 3 年 目	○結果評価 今後の方針を決定 。	○第 3 期に向けた 管理方針の取りま とめ		
隣接地区			○管理方針の再検 討 密度操作実験候補 地としての真鯉地 区の扱いを検討す る。 コミュニティベース の個体数調整の活 用等、持続可能な 管理体制の構築の ための方策を検討 する。 地域住民とエゾシ カの軋轢緩和のた めの方策を検討す る。			○第 3 期に向けた 管理方針の取りま とめ		
計画の見直し 遺産地域管理計 画など		○第 2 期管理計画 策定 ○モニタリング計 画策定（科学委員 会）				○第 3 期管理計画 素案作成 ○遺産地域管理計 画の見直し（科学 委員会）	○第 3 期管理計画 策定	
ユネスコ/IUCN 現 地調査報告書の 勧告への対応		○指標開発 植生指標を中心に 検討する。	○指標開発 生態系、生物多様 性を加味した指標 を検討する。					

※この他、科学委員会のモニタリング計画では、「広域植生図の作成」と「中小大型哺乳類の生息状況調査」をピックアップしている。

表2. 各モニタリング項目一覧

区分		実施主体	調査項目	内容・目的	調査地	2012	2013	2014	2015	2016	
モニタリング	植生	詳細調査	林野庁	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査	エゾシカ捕獲圧の強度や植生保護柵の配置・規模の再検討のため、主要越冬地等に設定した各種植生調査プロット及び防鹿柵内外の植生調査を行い、特定植物種とエゾシカ増減との対応関係や植生の回復状況などを把握する。林野庁3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、環境省3か所(全て知床岬)	知床岬・幌別・岩尾別	知床岬	幌別	岩尾別	知床岬	幌別
			環境省		知床岬	○	○	○	○	○	
			環境省	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。	知床岬 ルサー相泊 岩尾別	○	○	○	○	○
		広域調査	林野庁	エゾシカの採食圧の把握に関する広域植生調査	半島全体でのシカ採食圧の把握のため、地域別・標高帯別・立地別のシカ採食圧状況(木本・草本)を広域的に把握する。	実施場所未定(森林植生)	○	○	○	○	○
			環境省			連山・知床岳・遠音別岳・羅臼湖	連山	知床岳 羅臼湖			遠音別
			環境省			海岸植生			海岸 (斜里側)	海岸 (斜里側)	
		環境省	シレットコスミレの定期的な生息・分布状況調査	5年おきに遠音別岳および硫黄山の固定方形区にて、シレットコスミレの分布状況を調査する。また、当面は硫黄山における採食の状況を確認する。	硫黄山(シレットコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)					
	エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	環境省	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	知床岬(航空カウント)	○	○	○	○	○
			斜里町 羅臼町 知床財団			岩尾別・幌別・真鯉・ルサー相泊	○	○	○	○	○
			知床財団	エゾシカ間引き個体、自然死亡個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)のため、主要越冬地における、自然死亡個体の年齢・性別・頭数を把握する。また、間引き個体の体重・妊娠率等を把握する。	知床岬・岩尾別・幌別	○	○	○	○	○
		広域的調査	環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。	全域					
			環境省	エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。第2期計画期間内に実施予定なし。	全域					
		土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	土壌浸食の実態及び原因を把握する。	知床岬	○		○	
	広域		環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域		○		○	
	生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。	知床岬・幌別・羅臼	指標開発のため、必要に応じて実施。				
環境省			陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。	知床岬	指標開発のため、必要に応じて実施。					
実行計画の策定や見直しにあたって必要な調査		環境省 林野庁 北海道	管理手法検討調査	防御の手法、越冬地改変、個体数調整実施のための具体的な手法、技術面、安全面、コスト面等の詳細な検討を行う。	全域	○					
		環境省	越冬地シカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。							

